

若浜の子ども



令和3年10月30日 第6号

若浜小学校創立 50 周年

本校は、今年、創立から数えて半世紀という大きな節目を迎えました。本日は創立 50 周年記念式典に、酒田市長丸山至様はじめ多くのご来賓をお迎えしてお祝いすることができることを誠にありがたく存じます。この栄えある50年の歴史と伝統の奥には、創立以来変わらぬご厚情とご支援をいただいている地域の皆様や保護者の皆様のご協力と熱意があったからこそと感謝申し上げます。

本校は昭和47年に酒田市立浜田小学校から分離し、酒田市立第二中学校跡地に新設され、今日に至ります。50周年を迎えるにあたり、創立当時の資料を紐解くと興味深い点がいくつかありました。

まず校歌、校章は、初代PTA会長の園部和男氏が制定委員長を務め、酒田市広報を通じて一般公募したということです。その応募数は校歌の歌詞が17通、校章が23通でした。50年前にこのようなオープンな選考方法をとっていたということにまず驚きました。

驚いたことの2つ目は、校歌、校章、校旗の制定のために、PTAが中心となり保護者、教職員、地元企業から126万円もの寄付を集め、公費に頼らずに、自分たちのお金で作成したということです。

若浜小学校校歌の一番の「新しい夜明けを迎え新しい風を呼ぶ」、二番の「新しい歴史をつくり新しい風を呼ぶ」という言葉が示す「清新の心意気」、そして「われらの願い われらの若浜小学校」という言葉に込められた「自主の気概」。これらの言葉は、校歌・校章・校旗を、一般公募という民主的なシステムを取り入れ、さらに自前の予算で作り上げるという主体性にもつながっているのだろうと推察され、先達の偉大さ、先進性に驚くばかりです。

本校は、2度の学区改変、酒田大火、プレハブの校舎、体育館の改築、学童保育所の建築など児童数、風景ともに変わってまいりました。そのような中、校章のモチーフでもあり創立以来すくすくと成長し続けている前庭のメタセコイア。昭和、平成、令和と若浜小学校を見守ってきたメタセコイア。垂直方向の成長を止めようと芯止めをすれば、枝葉を水平方向にこれまで以上に伸ばし、へこたれないメタセコイアの木。少子化の流れに逆らい、空き教室ゼロ。給食の配膳は廊下で行うほどの人口密度。若浜小学校の勢いは、メタセコイアの木のごとく止められません。この勢いのある若浜小学校で学ぶ子どもたち一人一人が、メタセコイアの木のごとく、大地にしっかり根を張り、高さをめざして育っていつってくれるものと信じております。

若浜小学校への思い（学校文集から）

学校便りの前号に続き、学校文集から児童の作文を紹介します。今回は、創立記念にちなんで、若浜小学校を題材にした作文を取り上げます。

発展する若浜小学校

昭和50年度 6年 男児

若浜小学校ができて間もないころは、朝会で体育館にすわっても、半分も使わなかった。しかし、今年は、学区編制替えて、浜田小学校からたくさんの友だちがはいつてきたので、人数が2倍にもふえた。

朝会では、体育館全部を使うようになったし、中間休みの時は、体育館の使用割り当てが決まったし、図書の本出しも7日間から2日間になった。これらも人数がたくさんふえたことを示すものである。

学級も新しい友だちがたくさん増え、初めはどんな人かわからないまま、よく知っている人としか付き合わなかったが、今は、みんな仲良くしている。

人数がふえただけでなく、浜田からの児童をむかえるために校舎も大きくなった。そして今も、体育館わきに新校舎を建設中だ。来年度の新入生が、学校を去るぼく達六年生より、はるかに多いので建てているのだ。今年から、酒田でも大きい方の学校の仲間入りをした。

よく学校名を聞かれ、答えると、「若浜って、どこだっけ。」と、前は質問されることがたびたびあった。が最近では、「元の二中の所ね。」と、言われる様になった。これは、若浜の名が、酒田にとけこんでいる証拠だと思う。

又、若浜は施設や設備が立派になってきている。図書館は、冊数は少ないが、明るくよく整理されている。理科室、図工室には準備室があり、用具が整っている。児童会室は、児童会活動がしやすい様に、ロッカーやテーブルがある。視聴覚室では、視覚と聴覚を使った勉強ができる。

若浜小学校は、外見的にもきれいだし、新しい。日曜日には、そうじ婦の人が来て、ワックスをかけてくれる。そうじさえきらんとやれば、永遠にきれいだと思う。

ぼくから見て、若浜小学校は、どんどん発展してきていると思う。児童数もふえ、校舎や設備も整ってきた。これからは、勉強もスポーツも、何でもよい学校に成長してもらいたいと思う。



学校文集第8号表紙（昭和54年度）

※ この作文を書ってくれた方も、今は57、8歳になっているはずですが、今の若浜小を見てどのような感想を語ってくださるでしょうか。

やまがた未来賞受賞

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 山形支部より「やまがた未来賞」受賞決定の通知をいただきました。この「やまがた未来賞」は、学校教育、社会教育の各分野において、現在取り組んでいる一定レベルの特徴且つ特色のある取り組み、あるいは計画的で継続的な実践活動に対して資金面で支援することを趣旨としています。

本校の受賞は、平成 22 年に 4 年児童が総合的な学習の地域学習の一環として「心のふるさと新井田川の会」とともに、新井田川周辺の花壇への植栽を行ったことをきっかけに。その後 4 年生の総合的な学習で、以下のことに取り組んできたことを認めていただき受賞したものです。

- 新井田川の流域、歴史、治水改良工事、現状、生息している魚等について学習し、人々の暮らしと新井田川についての理解を深めた。
- 水の透明度、試薬を使ったパックテストにより pH、COD（水の汚れ検査）を調べ、新井田川の水質を分析、調査した。
- 新井田川の美化啓発に向け平成 30 年 児童作詞による「ぼくらの川新井田川」を発表。
- 平成 30 年「鳥海山・飛島ジオパーク学習研究発表会 in 遊佐」にて「新井田川のよさを探そう！ ～牛渡川と比べて～」のテーマで研究成果発表。

今回の受賞で 30 万円の活動助成金をいただきました。このお金で、水質検査用具、学習用展示パネルの購入、新井田川環境美化啓発の看板作成を行います。

若っ子のがんばり



○ 第 57 回酒田創意くふう展

- 特選 酒田東ロータリークラブ会長賞 6年 北野芭南
さくらんぼテレビジョン社長賞 6年 佐藤謙司郎
山形テレビ社長賞 3年 北野すず
酒田スワンロータリークラブ会長賞 2年 松浦颯馬（全国展へ推薦）
酒田中央ロータリークラブ会長賞 1年 池田圭佑
- 入選 6年 佐藤楓奈 井上遥琉 5年 今井慶治
4年 梶原康太郎 井黒もえ 梶原礼衣

3年 齊藤 健 2年 瀬尾咲恵 長南 陽 井黒理来

1年 齋藤芽生子 佐久間遥夢

佳作 6年 佐藤百華 5年 今野和歩 小松昌継 佐藤 快

4年 佐藤倅羽 佐藤有紗 2年 佐藤心優 渡部 尋 吉田夢有

1年 鈴木大登 三浦遥斗

○ 令和3年度酒田市小中学校理科研究発表会

6年 佐藤謙司郎 5年 御舩有紀人 4年 齋藤恭吾 3年 杉原 晃介

2年 阿彦 栞 1年 御舩 知

○ 校内陸上記録会 最高記録賞

	短距離走		持久走	
	男子	女子	男子	女子
	1・2年 80m 3～6年 100m		1・2年 400m 3年 600m 4年 800m 5・6年男子 1000m 女子 800m	
1年	今井清雅	梅津彩葵	川村陽真	杉原唯花
2年	芝田光希	田村寧音	渡部 尋	田村寧音
3年	佐藤剣心	池田夏穂	佐藤剣心	池田夏穂
4年	佐藤倅羽	田村彩音	山下煌太郎	鈴木亜花璃
5年	進藤大馳	今野和歩	進藤大馳	芝田朱里
6年	鈴木瑛士	井澤歩花	加藤絢翔	佐藤千波菜

○ 第25回コマツ・コーポレーション杯争奪学童新人軟式野球大会

第3位 CJヤンキース

○ 第36回酒田地区少年少女バレーボール交流大会(5年生以下大会)

混合の部 優勝 若浜ミニバレーボールスポーツ少年団

<先生もがんばっています！>

○ 山形県教育共励会優秀教育実践表彰

菅原久美子 教諭

